

放課後デイ

合同運動会で交流

ルール工夫でハンデ解消

八王子市と近隣エリアの放課後等デイサービスの21施設が合同で取り組む「第3回放課後等デイサービス合同運動会 in 八王子」が8月4日、エスフォルタアリーナ八王子（狭間町）のサブアリーナで催された。

機会を提供しようと、各事業所で構成する運営委員会が企画した手づくりのイベント。施設に通う子どもや保護者、職員同士の交流を深めるとともに、ルールを工夫することで、誰もが親しめる「アダプテッド（適応スポーツ）」の実践を目指し開催している。



玉入れに大興奮

夏休みの 思い出に

当日は児童約260

人と保護者

や職員ら約

120人の

計380人

が結集。八

板功至大会

委員長によ

る「初めて

出会うお友

達とも力を合わせ、夏休

みの楽しい思い出にしましょう」との挨拶に続き、児童代表が「みんな協力して全力で戦うことを誓います」と力強く選手宣誓した。

紅白のチームに分かれた参加者は、玉入れや綱引きなどに挑戦。大玉送りでは観客席から見えやすいよう走路を微調整したほか、玉入れには高さの異なるカゴを用意するなど、前回アンケートの声を反映した細やかな配慮が光った。参加児童からは「運動会に参加するのを楽しみにしていた」「また参加したい」といった声が聞かれた。

運営委員会は「勝敗だけでなく、挑戦することや協力することの大切さを感じてもらえたのは。参加者も応援する人も楽しめるような運動会として今後もさらに広げていきたい」と抱負を語った。